星灯りの下で

ミカヅキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
星灯りの下で

【Ｎコード】
Ｎ０５２８ＢＡ

【作者名】
ミカヅキ

【あらすじ】
星空の下の廃墟、少年と少女のとあるお話

「……はぁ」

少々崩れかかった廃墟。数千万の星々が輝く星空。
座れそうなガレキの上でため息を吐く少年が一人。
吐いた息は白く色づき、今は冬であることを伺わせる。

「……『アレ』から、もうかなりたったんだな」

誰も居ないことを確認してから、ポツリと呟く。

『アレ』
それは、少年にとってこの地を全て廃墟に変えた事件のことを指す。
正式名称はあるのだが、言うとどうしてもトラウマが蘇ってしまう。

荒れ狂う獰猛な叫び声、嘆きの怨嗟を上げる誰かの声、破壊音、血飛沫、血塗れた何か。

あの日、この地を満たしていたモノ。

少年はその事件の被害者、もとい生存者なのである。
自分の他にも生存者はいるが、一部を除き大けがや精神病を発症したりと、
こうやって外に出ている奴なんて一握りもいない。

「あー！やっと見つけたぁ！！」
「……うるせぇよ、レスフィア」

近くに通っている街道の方面から、十字架を象った杖を背負った栗色の髪の少女が走ってくる。
彼女はレスフィア＝ランヴェーカル。

少年が一番初めに出会った『仲間』である。

「何よその言いぐさ！すっごい探したんだからね！？」
「はいはい、サーセン」
「謝ってないでしょ！？」

少年の返答で不機嫌になったようで、彼女は露骨にむすっ……とした表情になる。

「……で、一体どうしたんだよ」
「どうしたも何も、宿から急にいなくなったから心配したのよ」
「……ちゃんと俺の部屋にメモを置いてきたはずだが」
「……字が汚すぎて読めなかったわよ」
「そうか」
「そうか、じゃないっての！」

せめて私に一声かけてよ。
レスフィアはそう言って、迷わず少年の隣に座る。
「……やっぱり、忘れたくとも忘れらんねぇな」
「あたり前じゃない。そんな簡単に嫌なことを忘れられたら苦労しないわよ」
あくまで気丈に言うレスフィア。
けれど彼女もまた、昏い闇を背負っている。
『精霊殺し』という大罪を、事故とはいえ犯してしまったという闇を。
この世界で『精霊』はある意味、『神』として扱われ奉られられる。
つまり、一般に言う『神殺し』を犯したのだ。
そんな子供が背負うには昏すぎる闇を、『十字架』という形で背負い続ける少女。
まわりからの迫害は、あまりに無慈悲。
だからと言って暗く弱気にではなく、気丈に明るく振る舞う。
それが、『レスフィア＝ランヴェーカル』という『人間』なのだ。
「それより、早く戻りましょ。私が風邪引くわ」
「馬鹿は風邪ひかないんじゃないのか？」
「誰が馬鹿よ！」

くだらないことを駄弁りながら、泊まっていた宿に戻っていく。

――おい、そこの奴。なんで俺の前にいるんだよ。

――別に私は居たいからここにいるだけよ。

――……どけよ。

――イヤ、だと言ったら？

――全力で叩きのめす。

――ふーん、わかった。今どけるわ。

――どうも……。って、ちょっと待ちやがれ。なんでついて来るんだよ！

――この先は国境で一人じゃいけないのよ。だからついて行くわ。

――あ、あぁ。……なら、構わない。

その後、結局レスフィアは国境まで、ではなくそのまま俺についてきた。

「……だな」
「？何か言った？」
「……いや、何も」

思えば、あの国境でコイツと出会わなければ俺は『復讐』という間違った道に進んでいた。

一人であちらこちらをうろうろしていた頃より、煩くてトラブルも多くなったがコレはこれでいい気がする。

あの日と同じ星空の下、俺は大きく息を吐き出した。

――――少年少女、出会いは星空にて――――

（後書き）

なんとなくノリで書きました。
結局少年の名前だけわからず終いという、いろいろ続きそうで続かないお話でした。

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n0528ba/

星灯りの下で

2012年1月1日01時46分発行